

電子帳票システム

adFactory Reporter

概要紹介

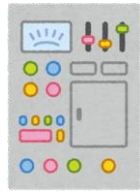
Rev.06w

株式会社 アドテック富士

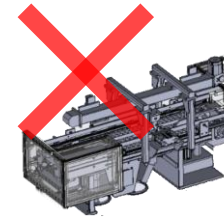
様々な紙の帳票を**電子化**し、**作業や管理の効率化**をはかります

例)

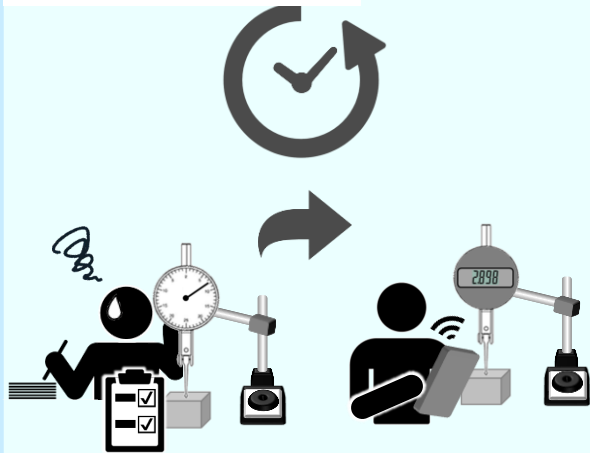
日常点検
使用前点検



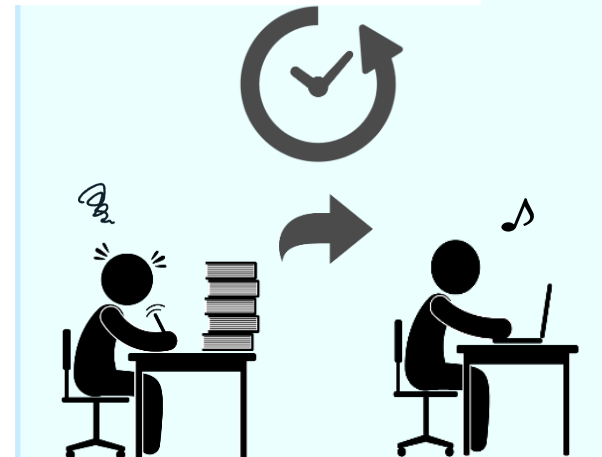
不具合報告書



作業の効率化



管理業務の効率化



導入前



導入後



- 紙の作業や管理が不要（印刷、配布、回収、保管）
- 1台のタブレットで様々な点検/検査が実施可能
- 帳票の汚損、紛失のリスクなし
- 計測器との接続により、転記ミス、自動記録
- 入力データの自動チェックによる、記録ミス防止

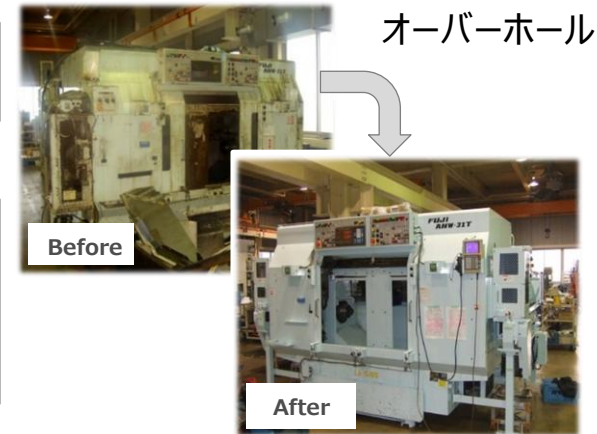
導入事例①

業種 : 工作機械 改造 / 修理
導入工程 : 設備使用前点検

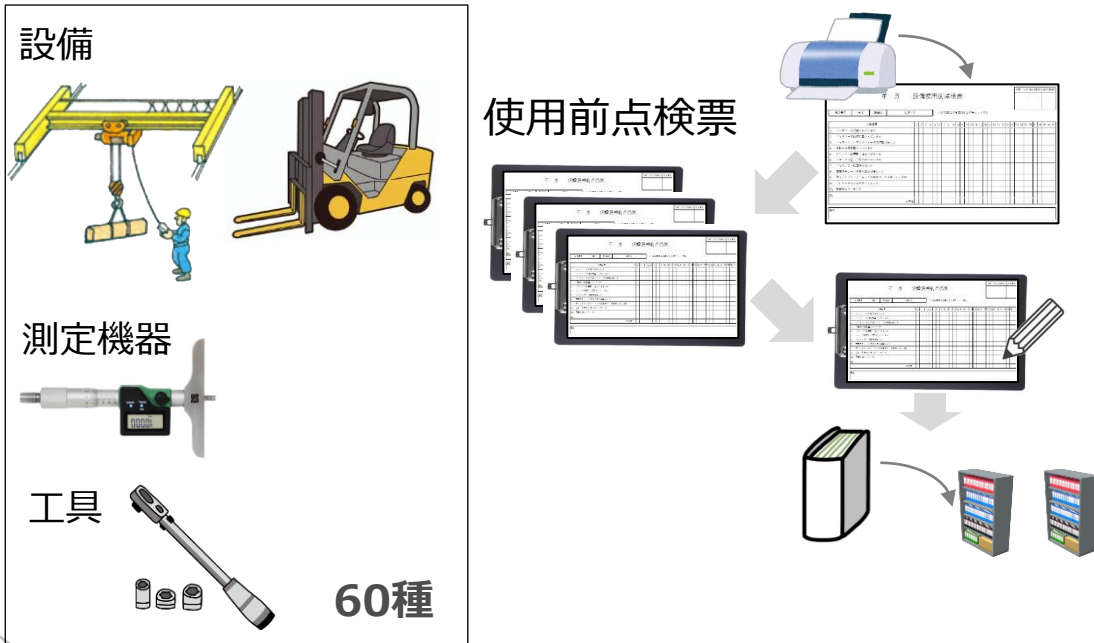
導入目的

点検票のペーパーレス化、作業・管理工数削減

- ・ペーパーレス化 (720枚 /年 60種)
- ・対象設備のQRコードをスキャンすることにより、手間なく検査内容が表示。
- ・印刷作業、回収、ファイリング、保管といった管理作業が不要。(60分 /月)



導入前



導入後



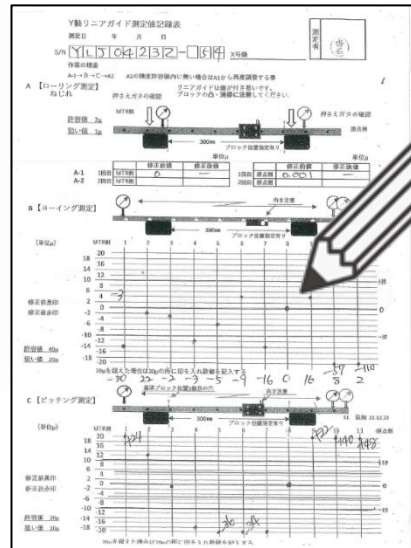
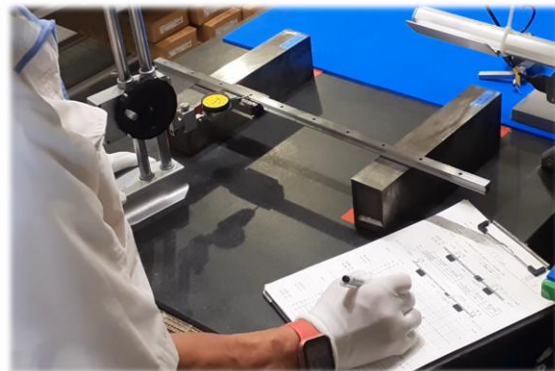
導入目的

納品部材の反り測定と補正作業の効率化

- ・ 測定値記録表のペーパーレス化。 管理業務削減（紙印刷、紙管理、保管等）
- ・ 測定作業時間の短縮（読み取り不要、記入不要）
- ・ 作業ミス防止（ダイヤルゲージの数値読み取りミス、プロットミス）

導入前

ダイヤルゲージにてリニアガイドの反りを測定。
読み取った結果を、手書きでプロットし、反りを確認し補正



導入後

デジタルゲージにてリニアガイドの反りを測定。
取得された結果が、自動でプロットされ、反りを確認し補正

